

学校におけるクマ出没時対応マニュアル

1 目的

本マニュアルは、学校周辺にクマが出没または出没情報があった場合に、生徒・教職員の安全を確保し、適切かつ迅速に対応することを目的とする。

2 基本方針

- ・ 生徒・教職員の人命を最優先とする。
- ・ 無用な接近や確認行動を行わない。
- ・ 関係機関（警察・市役所・教育委員会）との連携体制を明確化する。

3 想定される状況

- ・ 通学路または学校周辺でクマの目撃情報があった場合
- ・ 校地内でクマの痕跡（足跡・糞・爪痕など）が確認された場合
- ・ 校地またはその周辺でクマの姿が直接確認された場合

4 対応の流れ

(1) 出没情報を入手した場合（学校周辺）

- ・ 職員間で情報共有（職員室、校長・教頭へ速やかに報告）
- ・ 生徒の安全確保
- ・ 登下校中の場合：安全な場所（学校・生涯学習センター・店舗など）へ避難を指導
- ・ 校内にいる場合：校舎内待機を指示、戸締りの確認
- ・ 関係機関へ通報
- ・ 市町村・警察・教育委員会に報告
- ・ 保護者への連絡
- ・ 登下校時間の変更、迎え要請、一斉通知システムなどで情報提供
- ・ 職員の見回り・確認

原則として複数名で、安全が確認された範囲のみ（危険区域への立ち入り禁止）

(2) 校地内にクマが侵入した場合

- ・ 直ちに全校緊急放送
「校庭・校舎外に出ないでください。すぐに近くの教室や建物内に避難してください。」※ 体育館などの鉄の扉がある場所。
- ・ 生徒を校舎内または安全な場所へ避難
- ・ 外にいる場合：近くの建物内に避難し、静かに待機
- ・ 教室：窓・カーテンを閉め、静謐を保つ
- ・ 警察・市役所へ通報
通報内容：出没場所・時間・頭数・状況など
- ・ 職員は外に出ない
- ・ クマの動向確認は警察など関係機関に依頼

- ・ 安全確認後に解除
- ・ 関係機関の指示を受けて登下校・活動を再開

(3) 下校・登校時の対応

- ・ 通学路に危険区域がある場合
集団下校・保護者迎え・教職員の自家用車での安全確認を実施
- ・ 安全が確認されるまで
登下校を見合わせる、または臨時休校・下校時間変更を検討

5 保護者・地域との連携

- ・ 地域安全ボランティア、スクールガードとの連携強化
- ・ クマ出没情報共有（一斉通知システム・地域防災無線など）
- ・ 家庭への周知事項
一人歩きを避ける
鈴や音の出るものを携帯する（自転車用ベル、空のペットボトルなど）
ごみ・果実などの放置をしない

6 再発防止と事後対応

- ・ 出没時の状況・対応を記録し、教育委員会へ報告
- ・ 職員会議で対応の振り返り・改善点を協議
- ・ 年1回以上の「クマ出没対応訓練」を実施